

日医発第 1491 号（健Ⅱ）  
令和 5 年 11 月 27 日

都道府県医師会  
感染症危機管理担当理事 殿

日本医師会感染症危機管理対策室長  
釜 范 敏

### 中華人民共和国における小児の呼吸器感染症の増加について

今般、厚生労働省より各都道府県等衛生主管部（局）宛標記の事務連絡がなされ、本会に対しても周知方依頼がありました。

中華人民共和国（以下「中国」という。）において、今般、小児の呼吸器感染症が増加していることが報告されています。原因としては、季節性インフルエンザウイルス、肺炎マイコプラズマ、RS ウイルス、アデノウイルス等が報告されており、未知又は新たな病原体は確認されていません。

つきましては、貴会におかれましても本件についてご了知のうえ、郡市区医師会及び関係医療機関に対する周知方、ご高配のほどお願い申し上げます。

#### 医療機関における対応の概要

- 特に 最近一か月以内に中国渡航歴のある方で発熱や呼吸器症状を有する方の診察において、インフルエンザや新型コロナウイルス感染症（COVID-19）のほか、直近では日本国内で流行していないマイコプラズマ肺炎や RS ウイルス感染症等も念頭に置いて診察にあたることが重要である。
- 中国における肺炎マイコプラズマはマクロライド系抗菌薬に耐性である割合が高いとする報告がある。
- 本件については、現時点で情報が限られていることから、情報収集を継続中である。
- 最近一か月以内に中国渡航歴のある原因が明らかではない肺炎症例を認めた場合などにおいては、適宜保健所に連絡すること。

（参考 1）WHO Disease Outbreak News: Upsurge of respiratory illnesses among children-Northern China.  
23 November 2023. <https://www.who.int/emergencies/disease-outbreak-news/item/2023-DON494>

（参考 2）Kim K, Jung S, Kim M, Park S, Yang H, Lee E. Global Trends in the Proportion of Macrolide-Resistant Mycoplasma pneumoniae Infections: A Systematic Review and Meta-analysis. JAMA Netw Open. 2022;5(7):e2220949. doi:10.1001/jamanetworkopen.2022.20949

（参考 3）北京市衛生健康委員会  
[https://www.beijing.gov.cn/fuwu/bmfw/sy/jrts/202311/t20231114\\_3300887.html](https://www.beijing.gov.cn/fuwu/bmfw/sy/jrts/202311/t20231114_3300887.html)

事務連絡  
令和5年11月24日

公益社団法人 日本医師会 御中

厚生労働省健康・生活衛生局感染症対策部感染症対策課

## 中華人民共和国における小児の呼吸器感染症の増加について（周知）

平素より、感染症対策行政に御尽力、御協力を賜り、誠にありがとうございます。

今般、中華人民共和国（以下「中国」という。）において小児の呼吸器感染症が増加していることが報告されています。原因としては、季節性インフルエンザウイルス、肺炎マイコプラズマ、RSウイルス、アデノウイルス等が報告されており、未知又は新たな病原体は確認されていません。

医療機関においては、特に最近一か月以内に中国渡航歴のある方で発熱や呼吸器症状を有する方の診察において、インフルエンザや新型コロナウイルス感染症（COVID-19）のほか、直近では日本国内で流行していないマイコプラズマ肺炎やRSウイルス感染症等も念頭に置いて診察にあたることが重要です。また、中国における肺炎マイコプラズマはマクロライド系抗菌薬に耐性である割合が高いとする報告があります。これらについて、貴会会員に対し周知いただくようお願いいたします。

本件については、現時点で情報が限られていることから、情報収集を継続中です。最近一か月以内に中国渡航歴のある原因が明らかではない肺炎症例を認めた場合などにおいては、適宜保健所に御連絡いただきますようお願いいたします。

なお、同様の事務連絡を全国の地方公共団体の衛生主管部（局）宛に発出している旨申し添えます。

（参考1）WHO Disease Outbreak News: Upsurge of respiratory illnesses among children-Northern China.  
23 November 2023. <https://www.who.int/emergencies/disease-outbreak-news/item/2023-DON494>

（参考2）Kim K, Jung S, Kim M, Park S, Yang H, Lee E. Global Trends in the Proportion of Macrolide-Resistant Mycoplasma pneumoniae Infections: A Systematic Review and Meta-analysis. JAMA Netw Open. 2022;5(7):e2220949. doi:10.1001/jamanetworkopen.2022.20949

（参考3）北京市卫生健康委員会  
[https://www.beijing.gov.cn/fuwu/bmfw/sy/jrts/202311/t20231114\\_3300887.html](https://www.beijing.gov.cn/fuwu/bmfw/sy/jrts/202311/t20231114_3300887.html)

事務連絡  
令和5年11月24日

各 { 都道府県  
保健所設置市  
特別区 } 衛生主管部（局） 御中

厚生労働省健康・生活衛生局感染症対策部感染症対策課

### 中華人民共和国における小児の呼吸器感染症の増加について（周知）

平素より、感染症対策行政に御尽力、御協力を賜り、誠にありがとうございます。

今般、中華人民共和国（以下「中国」という。）において小児の呼吸器感染症が増加していることが報告されています。原因としては、季節性インフルエンザウイルス、肺炎マイコプラズマ、RSウイルス、アデノウイルス等が報告されており、未知又は新たな病原体は確認されていません。

医療機関においては、特に最近一か月以内に中国渡航歴のある方で発熱や呼吸器症状を有する方の診察において、インフルエンザや新型コロナウイルス感染症（COVID-19）のほか、直近では日本国内で流行していないマイコプラズマ肺炎やRSウイルス感染症等も念頭に置いて診察にあたることが重要です。また、中国における肺炎マイコプラズマはマクロライド系抗菌薬に耐性である割合が高いとする報告があります。これらについて、管内の医療機関に対し周知いただくようお願いいたします。

本件については、現時点で情報が限られていることから、情報収集を継続中です。保健所においては、引き続き海外における呼吸器感染症の発生状況について御留意いただくとともに、最近一か月以内に中国渡航歴のある原因が明らかではない肺炎症例を認めた場合などにおいては、必要に応じた調査の実施等、適切に御対応いただきますようお願いいたします。

なお、同様の事務連絡を公益社団法人日本医師会宛に発出している旨申し添えます。

（参考1）WHO Disease Outbreak News: Upsurge of respiratory illnesses among children-Northern China.

23 November 2023. <https://www.who.int/emergencies/disease-outbreak-news/item/2023-DON494>

（参考2）Kim K, Jung S, Kim M, Park S, Yang H, Lee E. Global Trends in the Proportion of

Macrolide-Resistant Mycoplasma pneumoniae Infections: A Systematic Review and Meta-analysis.

JAMA Netw Open. 2022;5(7):e2220949. doi:10.1001/jamanetworkopen.2022.20949

（参考3）北京市卫生健康委員会

[https://www.beijing.gov.cn/fuwu/bmfw/sy/jrts/202311/t20231114\\_3300887.html](https://www.beijing.gov.cn/fuwu/bmfw/sy/jrts/202311/t20231114_3300887.html)